

杏雲堂^{Vol.}27

SASAKI F
KYO
HOSPITAL

【特集】循環器内科

総合診療部門 内科センター
総合内科・循環器内科
センター長 赤坂 武

～医療の原点である手当を実践し、包括的に病気と向き合う 「総合診療部門 内科センター」の紹介～

杏雲堂病院では診療体制を刷新し、総合診療部門による診療を開始しました。創立 143 年という長い歴史の中で培った杏雲堂病院ならではのいい点をさらに発展させ、より皆様から信頼されるとともに、利便性も十分に考慮したわかりやすい診療体制に変わりました。病院を受診しようと思うきっかけは、さまざまな理由があります。大病院では病気による細分化が進み、病気になった際にどこを受診すればいいかわかりにくい状況があります。そのような場合は、ぜひ総合診療科内科センターにご相談ください。担当医師が、状態を的確に判断していきます。総合診療部門内の、各分野の専門性の高い医師と連携しながら、包括的に診療を進めていきます。また、現在は多くの健康に関連する情報がありふれており、自分や大切な家族のためにどのようにしたらいいか判断がつきにくいことが多いと思います。そのような時にも、この地区のよろず相談所として個々の状況に即した評価、必要な場合は治療方針を立てることができます。

私たちの最も根本となる考え方は、医療の基本となる「てあて（手当て）」です。痛い、あるいは辛いところに実際に手を当てて癒すということからこの言葉は作られましたが、問題点に対して手を差し伸べるといふ温かみのある姿勢を忘れずに、皆様方の健康を守るために全力で診療にあたりたいと思います。

高度医療を行う高次機能病院、身近なかかりつけ医の先生方と連携を取りながら、いつまでも元気に暮らせるように、お手伝いをさせていただきたいと思います。次のページでは、総合診療部門内科センター循環器内科の紹介をさせていただきます。



【特集】

循環器内科

杏雲堂病院 循環器内科の
ホームページもご覧ください。



？ | どのような時に循環器内科を受診したらいいですか？

■ 胸痛

坂道や階段を上るとき、早足で歩くときに胸の痛みや圧迫感を感じる場合。
夜間就寝時に、胸が苦しくなって目が覚めてしまう場合。

■ 息切れ、呼吸困難感

坂道や階段を上るとき、早足で歩くときに、以前と比べ息切れが強くなってきた場合。安静にしているでも息苦しい場合。

■ 動悸

胸の鼓動が強く感じる場合、脈が通常よりも速い、あるいは遅くなった場合。

■ ふらつき、めまい、失神

いわゆる頭の血が引く感覚。座っていても、ふわっと感じる、目の前が暗くなり意識が遠のく感じがする場合。

■ 跛行（はこう）

歩行時にふくらはぎから足に痛みがあり、立ち止まってしまう、休むと症状が改善する場合。また、足の指先が赤紫色に変色し、痛みや、治らない傷がある場合。

■ 健康診断で循環器内科受診の指示があった場合

無症状でも受診が必要です。受診の理由としては、心電図異常、胸部レントゲン異常、心雑音などが多い項目です。

■ 生活習慣病を指摘されたことがある場合

血圧が高い、コレステロールが高い、痛風を起こした、糖尿病予備軍などと言われたことのある場合、喫煙歴がある場合は、将来の心臓病のハイリスクと考えられます。



？ | どのような病気が対象ですか？（循環器内科でよく診る疾患）

■ 心不全

心不全は、様々な原因（下記の循環器疾患を含みます）で起こる症候群で、息切れやむくみが起こります。徐々に悪くなり、生活の質を低下させ、命にかかわってくるため、早期に見つけ治療を開始することが非常に重要となります。

■ 虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）

生活習慣病から引き起こされる動脈硬化や血栓で、径が3mm程度しかない心臓の血管（冠動脈）が狭くなり、心臓に十分な酸素や栄養がいきわたらなくなります。早歩きや階段昇降などの運動時に胸部の痛み、圧迫感が典型的な症状（心臓のSOSサイン）ですが、健康診断の心電図異常でみつける自覚症状のないものもあります。

■ 不整脈

不整脈には多くの種類があり、脈が速くなる頻脈、脈が遅くなる徐脈、また脈が飛ぶ期外収縮と分類されます。さらにその中には、命に関わる危険なもの、症状（動悸など）の強いもの、目の前が暗くなって倒れそうになるもの、脳梗塞を起こしやすくするもの、心不全を起こしやすくするものなど多岐にわたるため、医師による判断が不可欠となってきます。

■ 心臓弁膜症

人間の心臓は4つの部屋（ポンプ）から構成されており、一方向に血液が順よく流れています。この流れを正しく行うためには、部屋の仕切りとなる「弁」が正しく働いている必要があります。心臓弁膜症とは、弁が加齢・感染症・外傷・生まれつきといった理由でうまく働けなくなり、心臓に大きな負担をかけます。その結果として、不整脈や心不全を引き起こしてしまう可能性が高く、きちんと評価することが重要となってきます。

■ 心筋症（ファブリー病など）

心臓は主に筋肉組織で構成されています。その筋肉自体に異常を認め、その結果心臓の機能が悪くなってしまう疾患の総称です。心筋症のタイプによっては、その疾患特有の治療ができるものがあり、早期に発見することによって非常に良好な経過が得られます。当院では、肥大型心筋症、拡張型心筋症、不整脈原性右室心筋症などの他にも、特異的治療のあるファブリー病などのライソゾーム疾患を治療しています。

■ 先天性心疾患

■ 肺高血圧症

■ 深部静脈血栓症

■ 肺血栓塞栓症

■ 生活習慣病 等

現在は多くの情報が新聞、雑誌、インターネットにあふれています。本来は、個人ごとに治療をするべきかどうか、治療するならば何を目標とするか、どういった方法で治療するかといったことが変わってきますが、巷の情報から読み取ることは困難と考えられます。ご不明の点がありましたら、いつでも気軽に当院へお越しください。

循環器内科は、心臓、血管の病気（循環器疾患）を担当する診療科となります。高齢化社会に伴って循環器疾患はますます増えてきており、この中には狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、不整脈、大動脈疾患といった命に係わる病気が含まれています。これらの疾患を的確に診断し、すみやかに治療を行うことは極めて重要ですが、循環器疾患の特徴として「予防が可能」である点が挙げられ、病気にならないようにエビデンスに基づいた（確立された）診療することは、それ以上に大切なこととなります。

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は、IT社会となってきた現代において、運動不足の観点から誰もが罹患する危険を伴っているものです。しかし、これらの疾患を「痛くもないから」と言って放置してしまうと、突如として重大な循環器病を起こしてしまい、ご本人はもとより、ご家族にとっても大きな負担となってきます。

私たちの研究では、若い時分の肥満や腎機能障害が、心不全をより起こしやすくする原因であることがわかりました。

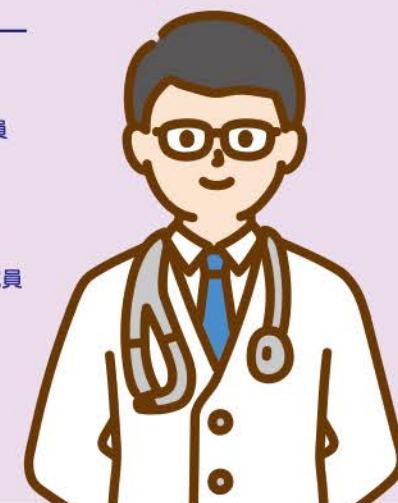
そのため、将来循環器疾患を発症させないために、患者さん一人一人の状態、仕事内容を含めた生活環境を正確に評価した上で、適切な診療を行うプレジジョン・メディシン（個別の予防医学）に力を入れ、いつまでも健康でいられる健康寿命の増進を目標としています。これは、診察室での医師による対応では完結せず、管理栄養士による栄養指導、理学療法士による運動療法も含まれた、包括的医療となります。

私たちは、その場の胸痛や動悸を除くだけでなく、患者さんの健康的な状態を維持すべく、伴走者の役割も担っています。

担当医紹介

センター長 赤坂 武（あかさか たけし）

千葉大学医学部卒業後、千葉大学第三内科にて研修
1993年-1994年 ドイツ マックスプランク研究所
(Freiburg im Breisgau) 研究員
1996年 千葉大学大学院医学研究科卒業
1996年-1998年 日本学術振興会 博士研究員
1998年-2001年 千葉大学 高次機能研究センター 助手
2001年-2003年 米国 ミシガン大学 (Ann Arbor) 博士研究員
2003年-2012年 米国 (La Jolla) バーナム研究所 研究員
2012年-2017年 湘南鎌倉総合病院 循環器内科 部長
2017年-2025年 湘南藤沢徳洲会病院 循環器内科 部長
2025年- 杏雲堂病院 現職



新入医師紹介

2025 年 9 月以降入職
常勤医



※外来診療時間は、2026 年 2 月 1 日現在のものです。



内科センター 総合内科

【科長】赤坂 武（あかさか たけし）

外来：月曜 AM、水曜 PM、金曜 AM

2025 年 9 月 1 日入職



レディースセンター 婦人科

【医員】雨田 恵（あめだ けい）

外来：第 1.3.5 月曜 AM・PM、
木曜 AM、金曜 AM・PM

2025 年 9 月 1 日入職



レディースセンター 婦人科

【医長】二宮 委美（にのみや ともみ）

外来：第 2.4 月曜 AM・PM、
火曜 PM、木曜 PM

2026 年 1 月 1 日入職

新年によせて

公益財団法人佐々木研究所附属
杏雲堂病院

院長 梶村 春彦

当院はがん研究には長い歴史を持っておりますが、そのがんとの闘い（war against cancer）という米国ではじまった基礎研究から薬物治療にいたる努力というのは実をむすんでいます。勝利しつつあるという判定だそうですね。そのような状態では個々の華々しい成果がニュースとして目をひくことはむしろ少なくなると言えます。現在進行中の病院の改革も戦いに例えれば勝勢でありまして、地味なフェーズにはいりますが、着々と進めていきたいと思っています。引き続き神田駿河台のインフラとして、しっかりと住民の要請に応えていく所存です。

皆様にとって安らぎ多い一年となりますよう願いつつ地域に寄り添う取り組みを続けてまいります。



杏雲堂病院
公式

Instagram

やっています！

病院紹介や、お知らせなどを発信しています。フォロー&いいねをお願いします！！

Follow me !! /



KYOUNDOHOSPITAL

外 来 の ご 予 約

外来予約センター

TEL：03-3292-2058（直通）

受付時間 【平 日】9：00～17：00

【第3土】9：00～12：00

検 診 の ご 予 約

杏雲堂検診センター

TEL：0120-132-051（フリーダイヤル）

TEL：03-3292-0551（直通）

受付時間 【平 日】13：00～16：00

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8

T E L：03-3292-2051（代表）

発 行：杏雲堂病院 広報委員会

発行日：2026 年 1 月 31 日



最新情報は

公式 HP をご覧ください。

www.kyoundo-hospital.jp